

提出日：平成 21年1月23日

## 平成 20 年度大学教育改革プログラム合同フォーラム参加報告書

関本 英太郎（東北大学大学院情報科学研究科 教授）

<b>調査・場所</b>
平成 20 年度大学教育改革プログラム合同フォーラム(パシフィコ横浜 会議センター)
<b>日程</b>
2009 年 1 月 12 日 (月) ～2009 年 1 月 13 日 (火)
<b>参加者</b>
関本英太郎 (教授) ・篠澤和久 (准教授)
<b>目的</b>
平成 20 年度に採択された文部科学省大学院教育改革支援プログラム「情報リテラシー教育専門職養成プログラム」のポスターセッションのため
<b>概要および成果</b>
<p>本プログラムの実質的スタートは、平成 20 年度 10 月。それ以降に実施したゼミ、学習会、FD研修等を含め、本プログラムの特徴を網羅したポスターを作成・掲示し、ポスターセッションをおこなった。</p> <p>ブースでの活発な質疑応答を始め、100 部用意したリーフレットもほぼ捌け、プログラムの意義は十分伝わったと思われる。</p> <p>その他、いくつかの分科会に出席。そこで今後の活動にとって留意すべき重要な点を挙げておく。</p> <p>(1) これまでの徒弟制度的な教育ではなく、何らかの課題を教員がお互いに協働しながら新たな教育目標を確立し、学生の育成に取り組むこと。いわゆる大学院の実質化。</p> <p>(2) 3 年間の支援はプログラムを軌道に乗せるための準備資金であり、支援終了後も大学として継続的かつ発展的に取り組むことができる体制を確保すること。</p>